

事業者としての功績とともに、理事として活躍し、その間副会長を4年、日本倉庫協会(岡本哲郎会長)の評議委員として尽



280人超が受章を祝う



小山会長(右から2番目)とゆり子夫人を孫も祝福

小山企業(本社・埼玉県戸田市・小山嘉一郎社長)の小山利倉庫協会副会長(前埼玉県倉庫協会副会長)の黄綬褒章受章記念祝賀会が20日、浦和ロイヤルパインズホテルで開催され、280人超が出席した。小山氏は2012年の秋の褒章で倉庫事業振興功労により黄綬褒章を受章。祝賀会は埼玉協会の小野寿勇会長をはじめ7人の発起人によって企画されたもので、小山企業の会社設立から47年以上にわたる倉庫

小山企業の小山利会長の黄綬褒章受章記念祝賀会を開催 埼玉協会の歴代会長、役員、会員の支援の賜と深く感謝

力した小山氏の受章を祝った。

小山氏は1945年4月生まれ。65年に小山企業を設立し、76年に営業倉庫に登録して以降、総合物流会社として埼玉県を中心に事業基盤を拡大。09年に小山嘉一郎氏に社長職を譲り、会長に就任した。業界活動にも注力し、07年からは埼玉協南部地区協議会会長、埼玉協副会長、日倉協の評議員を務めた。このほか、荷下ろし待ちトラックの路上駐車を原因とする事故撲滅を目指し、戸田競艇場バスターミナルに「夜間無料駐車場」を開設した「戸田市貨物自動車等路上駐車対策協議会」の副理事長、蕨地区交通安全推進事業所協議会の副会長も務めるなど地域社会貢献にも積極的に関わっている。

発起人を代表して埼玉協の小野会長は、「今日の祝賀会の盛況ぶりから、小山会長の人柄と日頃よりのご尽力がうかがえる。これまで支えてこられたゆり子夫人の多大なる内助の功に心から賛辞とお祝いを申し上げたい。小山会長は20歳の若さで小山企業を設立し、戸田地区を中心に(倉庫)施設を拡大し、卓越した事業運営には内外から多くの賛辞が聞かれる。埼玉協では副会長、南部地区協議会副会長として多大なるご尽力を賜り、私にとっても大変尊敬している大先輩。心から(受章に)お祝いを申し上げますとともに、今後のご隆盛を願う」とあいさつした。

来賓からは、関東運輸局の内田傑局長が「東京オリンピックに向けて笹目橋が開通され

たのを機に、小山会長が物流の重要性を認識し、倉庫業を主体とする会社を立ち上げたことは卓越した先見の明ですばらしい。経営基盤の強化として荷役機械の導入にも積極的で、保管効率の向上だけでなく、職場の環境改善も図った」と祝辞を述べた。また、戸田市の神保国男市長は、戸田市貨物自動車等路上駐車対策協議会について「戸田競艇場のバスターミナルを夜間にトラックの駐車場として開放し、安心安全に大変ご尽力いただいた」と語った。

日倉協の谷山将理事長は「協会運営でお会いし、小山会長の温かい人柄に惹きつけられた。人としての魅力が今回の受章につながったのではない。倉庫業を取り巻く環境は、大型倉庫の進出、国内産業の空洞化など厳しいが、小山氏の事業運営と今回の受章は倉庫業に身を置く者として、心強いし励みになる」とあいさつ。このほか、国際ロータリー第2770地区ガバナリーの渡邊和良氏が友人の立場から小山氏の魅力とエピソードを披露。第一倉庫冷蔵の有田治男社長は「経済が成熟するとサービス業はますます栄える。業界のためますます活躍してほしい」とエールを送った。

小山会長は祝賀会の開催に謝辞を述べるとともに「47年間、倉庫業を中心に物流事業にひたすら邁進してきた。ひとえに埼玉協の歴代会長、役員、会員の支援の賜と深く感謝している。受章を契機に、埼玉協のますますの発展と事業の繁栄を心から願っている」とあいさつ。記念品や花束の贈呈、小山氏の孫との記念写真の撮影も行われ、鏡割りの後、懇談会に移行。ダンスパフォーマンスやミニ・ジャスコンサー

トなどのアトラクションを楽しんだ。

小山企業の小山社長は「父が受章した時は、埼玉協を通じて業界に貢献してきたことを実感した。2代目としてのプレッシャーも大きい。会長としてだけでなく、父親として誇りに思う。同時に、父が仕事に没頭する中、母が支えてきたからこそ今回の受章があったと思う。私が09年に社長に就任してから4期目になり、諸先輩方のしつかりとした土台があり、順調に業績も発展している。会長は社長時代から仕事を任せたら口は出さない方針で、私が社長になってからも同じスタイル。会長に心配をかけないよう会社を盛り上げ、グループを含めて一層の発展を目指す」と述べた。



「父の業界貢献を実感」と小山社長



ダンスパフォーマンスなどアトラクションも